

第20回 Pitch to the Minister 懇談会 “HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成30年12月18日（火）13:00～14:00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：Society5.0：ヘルステックが創るどこでもヘルスケア
- 招へい者：岩渕 拓也 セルスペクト株式会社代表取締役
- 出席者：平井国務大臣、左藤副大臣、三輪 CIO、幸田内閣府審議官、柴崎参事官（IT）、山田参事官（IT）、須藤参事官（宇宙）、長谷部参事官（科技）、信朝 CIO 補佐官（IT）、大坪次長（健康・医療）、小川次長（健康・医療）、宮原参事官（健康・医療）、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 岩渕代表取締役からの説明

- セルスペクト株式会社は、誰もが気軽に健康チェックを行うことができる社会を実現するため、自社で開発した専用 POCT（現場で行う即時検査）機器を用いて、健康情報利活用事業を実施している。この専用 POCT により得られる匿名の健康データや購買データ等によって、サイバー空間とフィジカル空間の融合が可能になる。
- 当該事業において構築される健康情報プラットフォーム「KENPASS」を活用することで、現在日本が抱えている各種社会課題（国民の健康増進、国家歳費の削減、グローバルプラットフォームに対する国際競争力の優越、地域人口・経済の安定化と地方創生）を解決できるものと考えている。
- 新たな課題の抽出等を目的として、2018年4月から盛岡市で実証実験（盛岡「気がるに健康チェック」プロジェクト）を開始しているが、無料の健康チェックを利用された方からは、「来年は健診を受けてみよう」「食生活を改めよう」といった気づきによる能動行動が確認されている。

3. 主な質疑応答・議論

- 専用 POCT は血液8項目を10分程度で測定可能。現時点では海外にも競合機器はなく機能的に優位であるが、その一方で健康チェック時には有資格者（看護師等）の立ち合いを必要とする等、運用面での課題もあるとの意見があった。
- 健康チェックは定期的に高齢者が外出するための動機にもなり、フィジカル空間としての社会との接点を持ち続けることが可能になるとの意見があった。
- 消費者にとって安心な健康チェック・サービスを提供するためには、Society5.0 推進にフィットしたルール構築が必要との意見があった。

（了）

（速報のため事後修正の可能性あり）